

令和7年度来島者動態調査分析業務 報告書

一般社団法人 佐渡観光交流機構

目次

- 1 来島者動態調査分析業務の概要
 - 1-1 観光データ分析業務の趣旨
 - 1-2 観光データ分析業務の方法

- 2 入込者数推計
 - 2-1 調査の概要
 - 2-2 佐渡島入込者数・推計手順
 - 2-3 年別方面別入込者数
 - 2-4 月別方面別入込者数
 - 2-5 入込者の目的属性

- 3 その他の観光統計
 - 3-1 宿泊・入館統計

1 来島者動態調査分析業務の概要

1-1 来島者動態調査分析業務の趣旨

佐渡市の観光の現状及び経年における観光動態の推移を把握し、有効な観光施策を検討するため、島外旅行者を対象とした来島目的や年代、性別等の基礎的属性を推計し、データ分析の上で報告資料を作成する。

1-2 来島者動態調査分析業務の方法

本業務では、入込客数推計調査を行い、そこから佐渡観光における現状と経年での推移を把握する。

入込客数推計については、佐渡汽船の全ての輸送データを佐渡汽船株式会社及び佐渡市の承諾のもと利用し入込者数（非島民）について推計する。

2 入込者数推計

2-1 調査の概要

佐渡への入込推計は新潟県から公表されてきたが、乗船名簿の廃止に伴い佐渡市が推計値を算出している。当委託業務において従来手法に加え、佐渡市交通政策課の承認のもと佐渡汽船の持つ、乗船人員の情報を活用し入込者数の推計を行う。

2-2 佐渡島入込者数・推計手順

1. 佐渡汽船「輸送状況表（発着合計）」データを基準データとして参照。

掲載データのうち、輸送人員合計のデータ（1月～12月）を採用。このデータを2で除した数を、毎月の輸送実績（月別）とする。

2. 佐渡汽船様データから「島民グループ」「来島者グループ」を選別する（月・年）

① 佐渡汽船のロウデータ（個々人の回答データ一覧）の「No15 割引コード」から「島民グループ」と「来島者グループ」を選別。

○島民グループ

- ・割引コードのうち下記が該当するもの
【島民】・・・佐渡発・・・島発・・・
- ・府県コードで下記のもの
10 = 居住地：佐渡

○来島者グループ（割引コード下記のもの）

- ・島民グループ以外のコード（さどまる倶楽部は来島者コードとする）

② 上記①により、期間ごと（月・年）の「島民利用」「来島者数」を算出し、それぞれに島民グループと来島者グループの比率を算出。

③ 上記①の工程で得られた輸送実績（月別）に、上記②の比率を乗じ、月毎の「島民グループ」「来島者グループ」の推計値を算出。各月の推計値を合計し年間の推計値を算出する。

※これにより来島者数（月・年）を推計できる。

3. 来島者グループの中から有効データを選別し属性を算出する

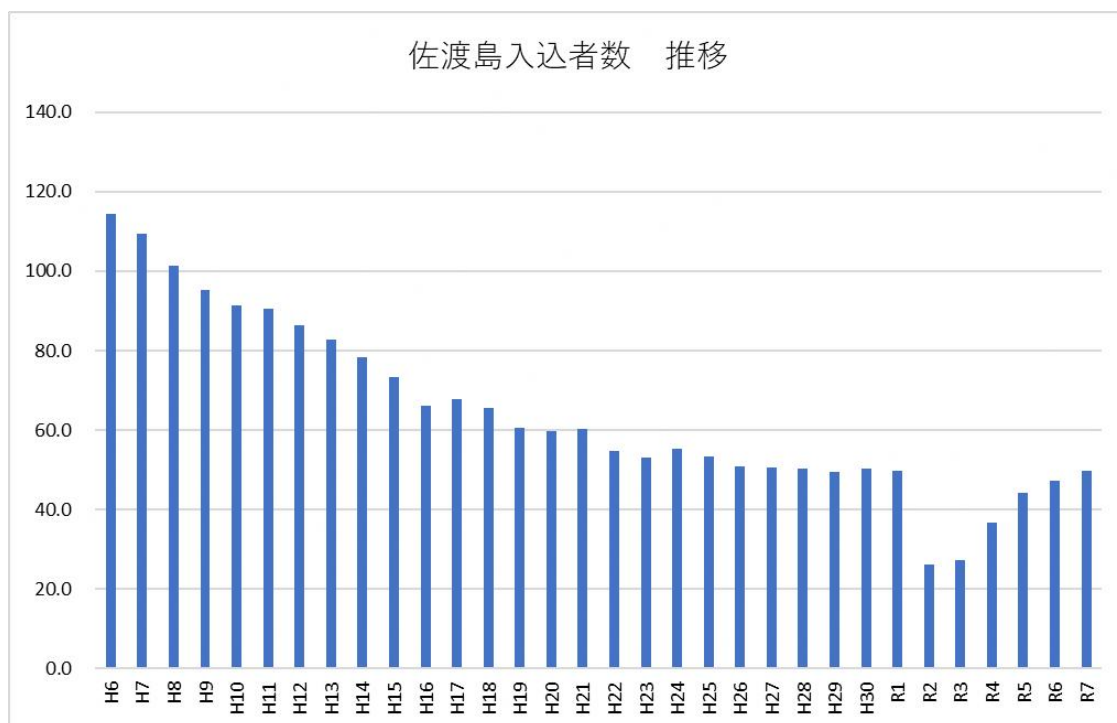
① 上記2で選別した来島者グループのうち No13 業者コードが入っているものだけ抽出する。※予約ベースに基づき各属性を算出するため。

② 来島者コードのうち850：インターネット予約のものデータを日本人に絞って係数として用いる。「850：インターネット予約」コードの各指標数の平均数値を各月の入込者数に乗じて推計値をする。

2-3 年別方面別入込者数

【年別入込者数推移】

(万人)



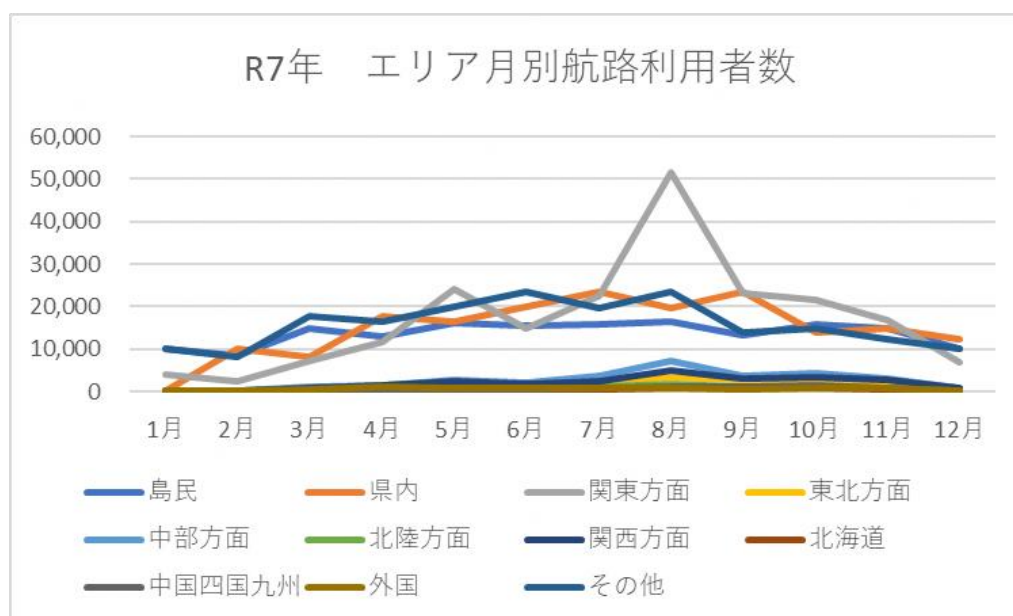
※平成25年から入込者数にグループ客の乗船者数を加えている。

※暦年ベースの推移となっているが、H29はデータの都合で年度の推移となっている。

令和7年の入込者数の推計値は499千人と推計され、令和6年と比較し約27千人増加した。コロナ禍前の令和元年と比較して100.2%まで復調した。

2-3 年別方面別入込者数

【年別方面別入込者数推移】



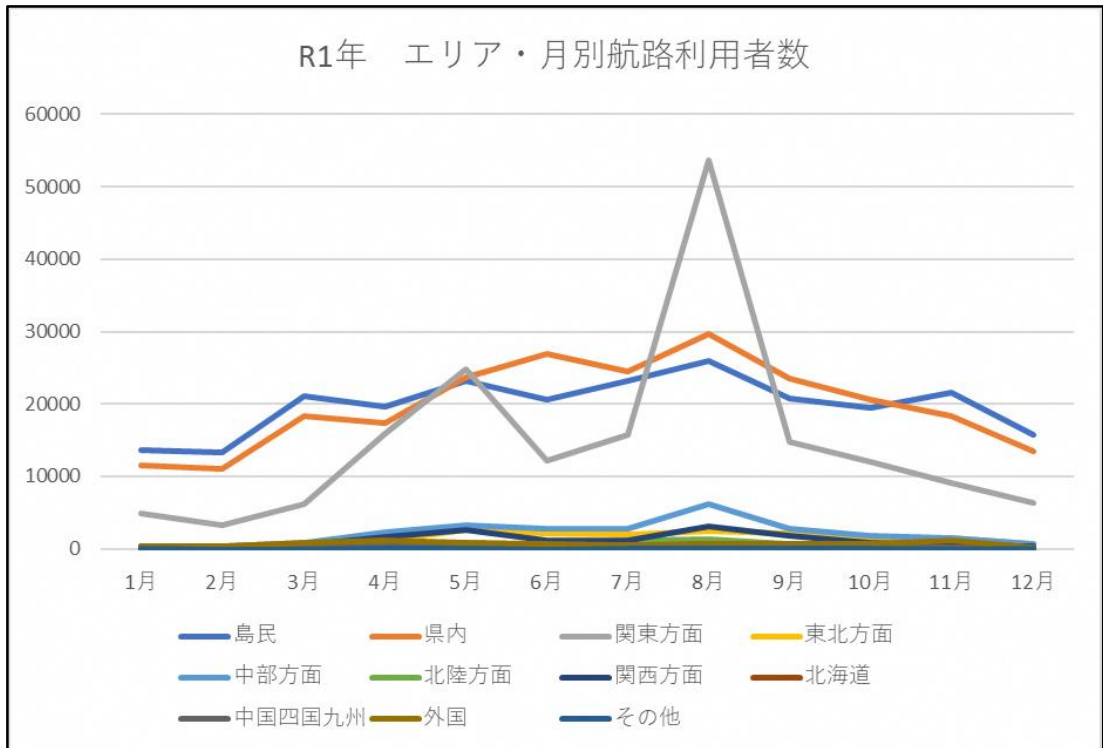
前年比で、新潟県内 **84%**、関東方面 **119%**、東北方面 **120%**、中部方面 **136%**、北陸方面 **143%**、関西方面 **162%**、北海道 **171%**、中国・四国・九州 **192%**、外国 **120%**。

エリア別割合で見ると、関東方面が **約42%** と最も高く、次いで新潟県内が **約38%** で続く。

特に関西・北海道・中国・四国・九州など遠方エリアにおいて **前年比150%～190%台** と大幅な増加が見られ、長距離移動を伴う来訪が顕著に拡大している。これは世界遺産登録を契機とした全国的な認知向上の影響と考えられ、来島者構造は従来の近距離圏依存型から、広域・遠方を含む多様な流入構造へと転換している。

2-4 月別方面別入込者数

【令和元年 エリア・月別航路利用者数】



	島民海路 利用者数	島民比率	海路 入込者数	県内	関東方面	東北方面	中部方面	北陸方面	関西方面	北海道	中国 四国 九州	外国	その他
R1	238,102	32.5%	495,239	238,878	179,215	16,780	25,502	6,696	13,993	2,418	3,767	7,892	98
1月	13,563	42.7%	18,222	11,603	4,931	291	408	150	341	33	63	394	7
2月	13,258	46.2%	15,428	10,971	3,205	175	333	122	211	65	49	298	0
3月	21,104	43.2%	27,734	18,309	6,167	525	809	252	533	140	208	790	0
4月	19,563	32.4%	40,884	17,368	15,957	1,179	2,240	763	1,559	258	419	1,123	18
5月	23,255	28.0%	59,894	23,647	24,893	2,618	3,312	839	2,538	543	614	885	6
6月	20,606	30.5%	46,913	26,857	12,240	2,124	2,692	563	1,140	184	519	595	0
7月	23,201	32.5%	48,217	24,516	15,744	1,892	2,811	1,102	1,125	281	285	453	8
8月	26,016	20.9%	98,175	29,755	53,640	2,497	6,186	1,307	3,086	329	699	668	10
9月	20,749	30.7%	46,885	23,570	14,845	2,096	2,801	716	1,755	167	288	643	4
10月	19,496	33.7%	38,335	20,545	12,058	1,283	1,874	445	907	192	338	668	26
11月	21,611	39.7%	32,801	18,316	9,118	1,480	1,450	306	528	146	248	1,209	0
12月	15,679	41.9%	21,750	13,421	6,417	621	587	130	271	79	38	166	21

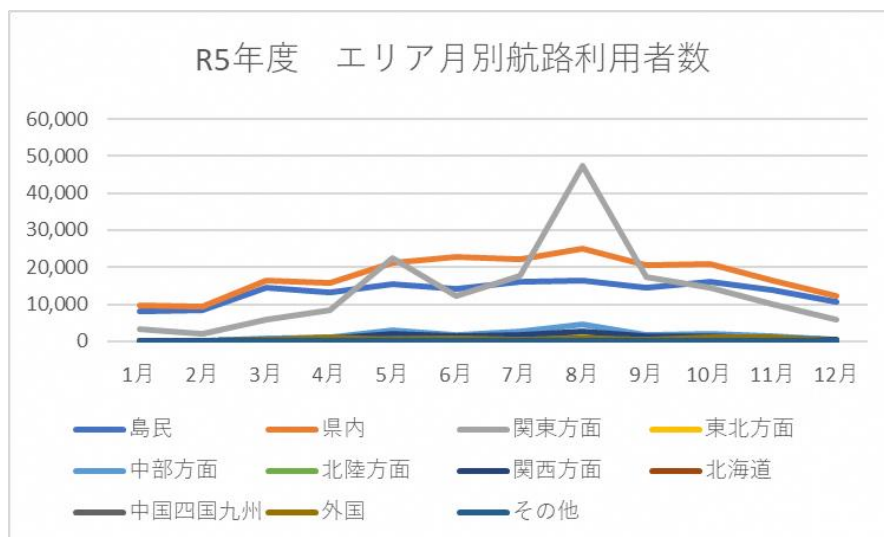
※前年より増えたエリアには水色の網掛けを行っている。

入込者数の推計では海路入込者の 495,239 人にクルーズ船の乗客 2,898 人を合わせた 498,137 人を令和元年の入込者数と推計した。

【令和元年：増減に影響を及ぼしたと思われる主な要因】

- ・1月-3月 昨年4月からの増加基調が継続し前年比較で増加傾向が続いた。
- ・4月-5月 ゴールデンウィーク10連休の影響により前年比で大きく増加した。
- ・6月-7月 ゴールデンウィーク後の反動減、山形沖地震の影響により6月が大きく減少し7月まで低い水準が続いた。
- ・9月-10月 大雨、台風の影響により関東方面からの落込みが大きく影響した。
- ・12月 12月13日に遠東航空の運休により外国人旅行者の実績が減少した。

【令和5年 エリア・月別航路利用者数】



	島民海路 利用者数	島民比率	海路 入込者数	県内	関東方面	東北方面	中部方面	北陸方面	関西方面	北海道	中国 四国 九州	外国	その他
R5	160,497	26.6%	442,069	212,862	166,799	12,425	19,464	4,388	13,095	2,357	4,249	6,430	0
1月	8,080	36.8%	13,864	9,796	3,189	245	201	117	187	20	64	45	0
2月	8,268	40.1%	12,370	9,516	2,165	227	162	71	120	19	45	44	0
3月	14,621	37.2%	24,670	16,458	5,933	388	790	133	454	97	103	314	0
4月	13,137	31.8%	28,180	15,911	8,497	595	957	151	595	135	258	1,082	0
5月	15,275	22.5%	52,499	21,122	22,419	1,809	3,043	716	1,965	399	631	396	0
6月	14,250	25.8%	41,059	22,750	12,342	967	1,637	278	1,459	301	702	624	0
7月	15,971	25.3%	47,109	22,198	17,661	1,552	2,557	442	1,621	292	289	497	0
8月	16,269	16.2%	84,371	24,986	47,262	2,049	4,535	895	2,718	354	776	796	0
9月	14,377	24.5%	44,327	20,552	17,245	1,620	1,809	377	1,472	271	443	538	0
10月	15,964	27.3%	42,505	20,951	14,360	1,534	2,123	564	1,364	282	372	955	0
11月	13,804	30.4%	31,585	16,512	9,971	925	1,280	486	839	128	483	960	0
12月	10,482	34.9%	19,530	12,111	5,755	515	371	158	302	57	82	179	0

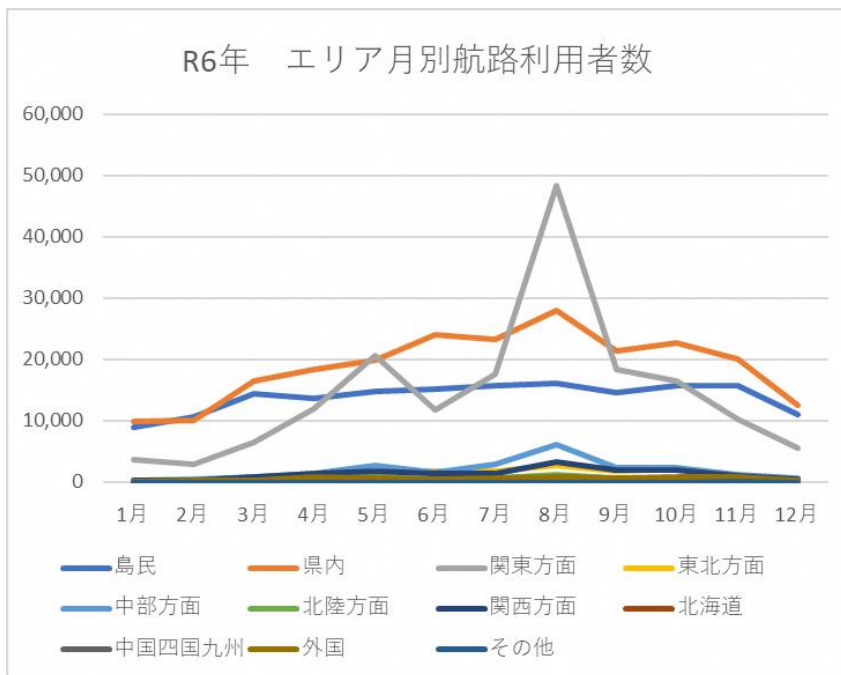
※前年より増えたエリアには水色の網掛けを行っている。

入込者数の推計では海路入込者の442,069人にクルーズ船の乗客1,616人を合わせた443,685人を令和5年の入込者数と推計した。

【令和5年：増減に影響を及ぼしたと思われる主な要因】

- ・5月 サイクルボール Season IV -グランボールがスタート！
- ・5月8日 新型コロナウイルスの感染症法の位置づけが「5類」へと引き下げられた。
- ・8月 しま夢ジャズ・イン・佐渡 2023
- ・9月23日 ミライノキタザワ×ランタンフェス開催
- ・9月 DiscoverPass 2023 販売

【令和6年 エリア・月別航路利用者数】



	島民海路 利用者数	島民比率	海路 入込者数	県内	関東方面	東北方面	中部方面	北陸方面	関西方面	北海道	中国 四国 九州	外国	その他
R6	165,827	26.0%	470,910	226,434	173,743	14,796	22,222	5,720	15,090	2,997	3,918	5,969	0
1月	8,964	38.6%	14,267	9,807	3,594	122	238	107	228	36	41	95	0
2月	10,524	43.1%	13,914	10,117	2,843	121	307	78	194	30	88	136	0
3月	14,292	35.8%	25,676	16,453	6,387	595	738	182	722	174	157	268	0
4月	13,640	27.4%	36,063	18,374	11,967	1,026	1,392	551	1,315	251	318	868	0
5月	14,799	23.4%	48,530	19,826	20,654	1,571	2,637	860	1,632	381	434	537	0
6月	15,043	26.3%	42,088	24,093	11,751	1,723	1,582	490	1,312	396	262	478	0
7月	15,643	24.4%	48,500	23,190	17,553	1,683	2,910	647	1,432	232	269	585	0
8月	16,119	15.0%	91,464	27,978	48,400	2,687	5,982	1,138	3,204	514	829	731	0
9月	14,478	23.3%	47,768	21,432	18,317	1,762	2,367	652	1,894	335	437	571	0
10月	15,683	24.8%	47,622	22,651	16,403	2,026	2,338	500	1,906	352	652	794	0
11月	15,623	30.8%	35,088	19,956	10,286	1,048	1,197	380	921	211	301	766	20
12月	11,019	35.6%	19,931	12,557	5,588	431	534	135	330	86	130	140	0

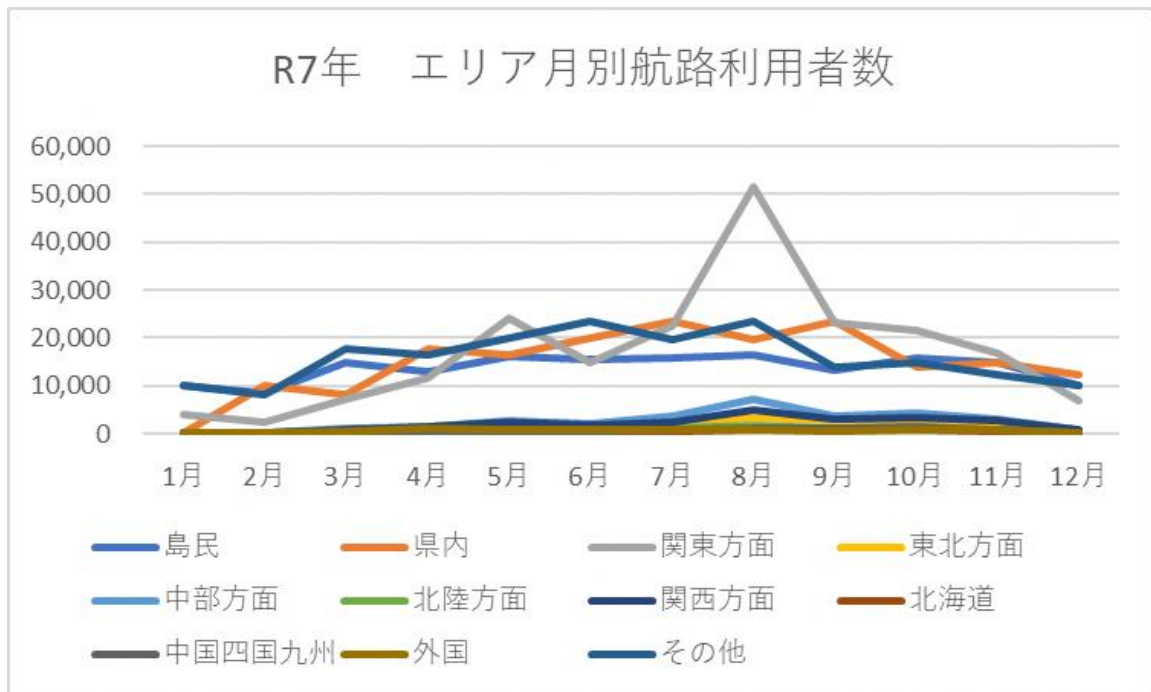
※前年より増えたエリアには水色の網掛けを行っている。

入込者数の推計では海路入込者の 470,910 人にクルーズ船の乗客 1,123 人、8 月に小木港に入港したチャーター船 327 人を合わせた 472,360 人を令和 6 年の入込者数と推計した。

【令和6年：増減に影響を及ぼしたと思われる主な要因】

- ・1月1日 能登半島地震発生
- ・3月8日～ 北陸応援割販売開始
- ・3月10日 佐渡ヶ島フェス 2024 開催
- ・7月28日 佐渡島の金山が世界文化遺産登録決定
- ・9月15日 しま夢ジャズ・イン・佐渡 2024 の開催
- ・10月1日 歴史文化自然体験キャンペーンの開始

【令和7年 エリア・月別航路利用者数】



	島民海路 利用者数	島民比率	海路 入込者数	県内	関東方面	東北方面	中部方面	北陸方面	関西方面	北海道	中国 四国 九州	外国	その他
R7	163,860	3	497,142	190,075	206,678	17,716	30,247	8,184	24,458	5,113	7,516	7,155	18
1月	9,894	39.3%	15,304	10,065	3,989	272	283	157	254	83	79	122	0
2月	8,452	41.6%	11,862	8,287	2,457	173	168	125	230	108	117	197	0
3月	14,814	34.6%	27,991	17,613	7,141	522	967	309	637	210	251	341	0
4月	13,063	27.7%	34,059	16,341	11,482	779	1,544	543	1,469	293	427	1,181	0
5月	16,064	23.0%	53,651	20,049	24,027	1,694	2,850	939	2,249	565	604	674	0
6月	15,622	25.2%	46,411	23,505	14,936	1,575	2,004	595	1,878	511	616	791	0
7月	15,688	22.7%	53,368	19,688	22,408	2,358	3,646	952	2,513	336	725	742	0
8月	16,475	14.8%	94,866	23,347	51,720	3,286	7,125	1,666	5,091	675	1,226	730	0
9月	13,306	21.1%	49,853	13,949	23,234	2,554	3,670	945	3,132	806	1,150	413	5
10月	15,878	23.8%	50,844	14,871	21,683	2,517	4,289	949	3,477	895	1,290	873	5
11月	14,710	27.4%	39,015	12,235	16,758	1,474	2,944	776	2,791	457	772	808	5
12月	9,894	33.2%	19,918	10,125	6,843	512	757	228	737	174	259	283	3

※前年より増えたエリアには水色の網掛けを行っている。

入込者数の推計では海路入込者の497,142人にクルーズ船の乗客1,951人（10月に小木港に入港予定だったチャーター船は悪天候のため中止）を合わせた499,093人を令和7年の入込者数と推計した。

【令和7年：増減に影響を及ぼしたと思われる主な要因】

- ・ 4月 世界遺産登録効果の継続により春季来島需要が増加
- ・ 5月 ゴールデンウィーク期間中の天候安定および関東方面からの来訪増加
- ・ 7月～8月 夏季観光需要の回復に加え、関東圏を中心とした広域流入の増加により来島者数が大幅増
- ・ 8月 関東方面からの来訪が過去最大規模となり全体の入込を牽引
- ・ 9月 スポーツイベントや地域イベントの開催により一定の需要を維持
- ・ 10月 秋の観光シーズンに伴う観光需要増加および広域からの来訪増加
- ・ 11月 紅葉シーズンおよび文化・自然体験コンテンツによる観光需要の維持
- ・ 12月～2月 観光需要は減少する一方、帰省・ビジネス需要が一定の来島を下支え
- ・ 通年 関東方面を中心とした広域流入の増加により、来島構造が県内依存から広域流入型へ変化

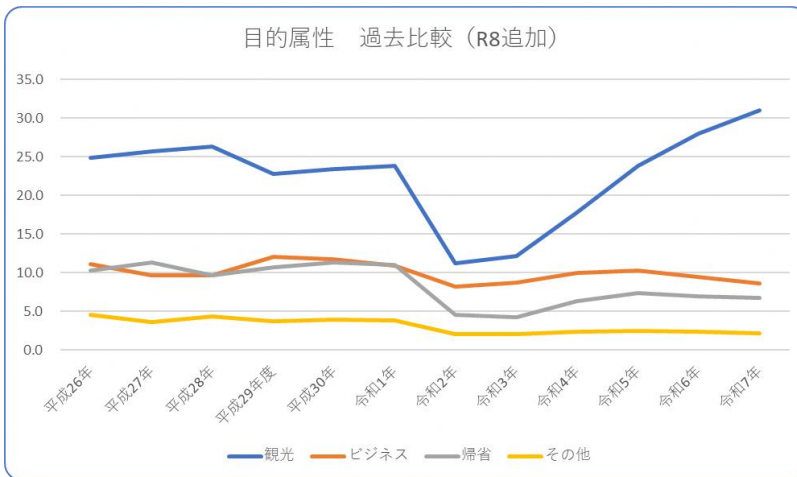
2-5 入込者の目的属性

入込者の目的属性

(万人)

	観光	ビジネス	帰省	その他	備考
平成26年	24.9	11.1	10.3	4.5	入込50.8万人 佐渡市調
平成27年	25.7	9.7	11.4	3.6	入込50.4万人 佐渡市調
平成28年	26.3	9.7	9.7	4.3	入込50.0万人 佐渡市調
平成29年度	22.8	12.1	10.7	3.7	入込49.3万人 佐渡観光交流機構調
平成30年	23.4	11.7	11.3	3.9	入込50.3万人 佐渡観光交流機構調
令和1年	23.8	10.9	11.0	3.8	入込49.5万人 佐渡観光交流機構調
令和2年	11.2	8.2	4.6	2.1	入込26.1万人 佐渡観光交流機構調
令和3年	12.2	8.7	4.2	2.1	入込27.2万人 佐渡観光交流機構調
令和4年	17.8	10.0	6.3	2.4	入込36.7万人 佐渡観光交流機構調
令和5年	23.8	10.4	7.4	2.6	入込44.2万人 佐渡観光交流機構調
令和6年	28.0	9.6	7.1	2.4	入込47.1万人 佐渡観光交流機構調
令和7年	31.9	8.7	6.8	2.3	入込49.7万人 佐渡観光交流機構調

※クルーズ船を除いている。



	観光				ビジネス				帰省				その他				合計			
	R1	R5	R6	R7	R1	R5	R6	R7	R1	R5	R6	R7	R1	R5	R6	R7	R1	R5	R6	R7
1月	1,722	1,472	1,289	3,395	7,020	7,037	7,000	6,271	7,734	4,192	4,755	4,371	1,745	1,163	1,224	1,267	18,222	13,864	14,267	15,304
2月	1,519	1,899	2,398	3,603	10,522	8,399	8,419	5,955	2,066	1,306	1,842	1,283	1,321	766	1,254	1,021	15,428	12,370	13,913	11,862
3月	6,661	9,099	10,731	14,340	12,743	9,194	8,746	8,533	4,997	3,752	3,336	2,904	3,333	2,626	2,864	2,214	27,734	24,670	25,676	27,991
4月	21,829	13,370	22,176	21,361	6,409	7,935	7,348	6,637	9,773	4,379	4,414	3,530	2,873	2,496	2,126	2,531	40,884	28,180	36,063	34,059
5月	36,802	33,067	31,581	38,487	6,227	6,495	6,286	5,790	12,693	10,262	8,478	7,288	4,173	2,675	2,185	2,086	59,894	52,499	48,530	53,651
6月	24,320	22,531	26,273	32,196	13,271	12,448	10,355	9,127	5,196	3,621	3,264	2,844	4,126	2,459	2,196	2,244	46,913	41,059	42,088	46,411
7月	29,486	31,714	33,659	39,783	9,112	8,557	8,386	7,658	6,529	4,856	4,623	4,386	3,089	1,982	1,832	1,541	48,217	47,109	48,500	53,368
8月	50,957	51,903	60,766	63,432	5,812	5,838	5,076	5,072	36,908	24,191	22,961	24,041	4,499	2,439	2,660	2,321	98,175	84,371	91,464	94,866
9月	27,742	27,172	33,816	35,587	9,126	9,457	7,500	7,316	6,224	4,373	4,173	4,336	3,793	3,324	2,278	2,614	46,885	44,327	47,768	49,853
10月	19,128	25,207	31,479	35,326	10,332	10,418	9,590	9,225	5,435	4,472	4,293	4,224	3,440	2,408	2,259	2,069	38,335	42,505	47,622	50,844
11月	14,333	16,422	20,535	25,954	9,547	9,482	8,985	7,923	5,508	3,742	3,712	3,511	3,412	1,940	1,856	1,627	32,801	31,585	35,088	39,015
12月	3,644	4,397	5,558	5,763	8,701	8,484	8,113	7,260	7,385	4,982	4,775	5,584	2,020	1,667	1,484	1,311	21,750	19,530	19,931	19,918
合計	238,144	238,253	280,262	319,227	108,821	103,743	95,805	86,767	110,448	74,129	70,625	68,302	37,825	25,945	24,217	22,846	495,239	442,069	470,909	497,142

R7年度の目的別入込者数は以下の通りとなった。

観光：319,227人（前年比約114%）
 ビジネス：86,767人（前年比約91%）
 帰省：68,302人（前年比約97%）
 その他：22,846人（前年比約94%）

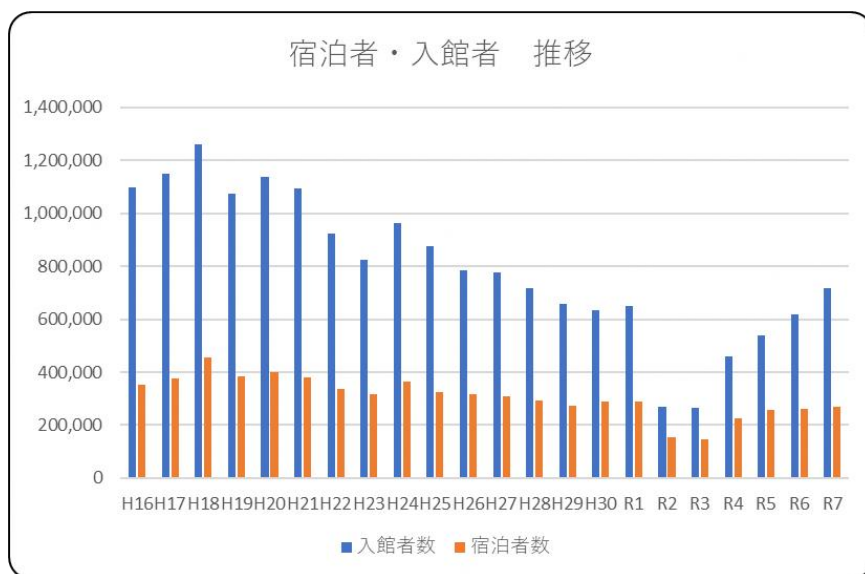
この結果、来島者全体に占める構成比は

観光：約64%
 ビジネス：約17%
 帰省：約14%
 その他：約5%

となり、観光目的が引き続き過半数を大きく占める構造となった。
 前年と比較すると、観光目的は増加した一方で、
 ビジネス・帰省・その他はいずれも減少となった。

3 その他の観光統計

3-1 宿泊・入館統計



【結果】

R7年の宿泊者数は350,524人となり、前年と比較して増加し、**前年比約108%**となった。

また、観光施設の入館者数についても前年を上回る水準で推移しており、特に**秋季（10月～11月）を中心に利用者数の増加**が見られた。

一方で、月別では季節変動が大きく、夏季および秋季に利用が集中する傾向が確認される。

【考察】

R7年は、来島者数の増加に伴い、宿泊および観光施設の利用も回復・拡大していることが確認された。

特に観光施設の入館者数は、世界遺産登録効果や観光目的来島者の増加により、一定の伸びを示しており、来島者が観光行動へ移行している傾向が見られる。

一方で、入込者数の増加に対して宿泊者数の伸びは相対的に緩やかであり、日帰りや短期滞在の増加、または宿泊統計に含まれない宿泊形態（民泊・ゲストハウス等）の影響が考えられる。

また、施設利用についても、**屋内型施設や世界遺産関連施設への集中**が見られる可能性があり、**来島者の行動は回遊型から目的型へと変化している**と考えられる。

今後は、**来島者を宿泊および観光施設利用へと確実に転換するための導線設計とともに、施設間の回遊促進や滞在時間の延長を図る施策が重要である。**

来島者数の増加が施設利用や宿泊への程度転換されているかを把握することが、今後の観光施策において重要である。